

Inizio

イニジオ

スラーのデイキャンプで、レザークラフトのワークショップ。



デイキャンプで素敵な革製品に出会いました

高橋一徳さん(深谷)は、福島市にレザークラフト(革工芸)の工房を構え、オーダーメイドを中心に、革製の小物やバッグ、靴などをつくっています。村内のイベントにも出店していて、この日はデイキャンプの会場でワークショップを行っていました。



高橋一徳さん

かつての会社員時代に入院をした高橋さん。入院中はすることもないうからと友人が持つて来てくれたのがレザークラフトの道具でした。それがきっかけとなり、退院をしてから、革靴の工房で靴づくりを教わったり、独学で小物を製作したりするようになり、レザークラフトの道を歩き始めました。会社を退職し、平成30年に事業者登録。翌年から、工房での製作をスタートしました。



Instagram

東京からの日帰りで参加していた浅原さん

東京生まれ東京育ちの浅原さん(旧姓:安藤さん)は元環境省の職員。当時の職員研修で村を訪れ、飯館村の大ファンになったそうです。何と、わざわざ村に住んで、福島地方環境事務所(福島市)に通勤をしていたと言うのですから本物です。しかし、「秋には日に日に進んでいく紅葉がきれいで…」と当時は振り返るものの、何が「大ファン」の決め手かは、浅原さん自身もは

きり分からないのだそうです。理由のない「好き」ほど強い「好き」はないのかも知れません。結婚を機に退職し、現在は東京都で暮らしていますが、震災から10年の節目には、高校生が福島県内で聞き書きと発信を行うプロジェクトに参加。さらには今後、再び村とつながり起業をしたいとアイデアを練っているそうです。



Kawa(川俣のカワ)-li(飯館のイイ).Labってネーミングも素敵。

デイキャンプの運営をラボの仲間がサポート

スラーと、川俣町で地域づくりに携わる皆さんとで立ち上げた「カワイイラボ」。スラーが開催している料理教室「クックリング」での出会いをきっかけに、意気投合して結成しました。やりたいことを話し合った

り、課題の解決に協力したり、つながりを深めています。川俣町の皆さんが、今回のデイキャンプでも、スタッフや出店者として活躍していました。近くて異なる「よさ」を生かして生まれてくる「何か」が楽しいですね。これからもぜひ飯館村で、つながり合う楽しさを広げていってください。



それぞれ家族で参加していた子ども達が、初対面とは思えないほど仲よしに。



飯館村が大好きな東京都在住の浅原さんに出会いました。

浅原みゆきさん

Kawa-li.Lab

カワイイラボ